

## 2年 道徳の年間指導計画例 (2020年休校措置対応)

- 年間35時間に配当された教材のうち、6教材を「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」としています。
- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」として、教科書内で同一内容項目について、2教材以上用意しているもののうち1教材を挙げました。ただし、教科書の構成上、特別の指導意図があるものについては、2教材以上用意している内容項目の教材であっても、「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」に含めていません。
- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材」に該当する教材の欄は、水色  にしています。
- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」は、赤字で示しています。
- 各学校の状況によって、年度当初に予定していた学習内容の指導を、本年度中に終えることが困難な場合に、学校における学習活動を重点化する際の参考資料としてご活用ください。
- そのうえでなお、学習内容を年度内に終えることが困難な場合は、年度内に全ての内容項目を取り上げることを念頭に、次年度に送る等の対応も考えられます。
- 各学校の状況に応じて、適切にご判断ください。なお、次年度に送る場合には担当教員間の引継ぎにご配慮ください。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
4月	1. 学校 大すき 〔学校 大すき、先生 大すき〕 【主】C よりよい学校生活、集団生活の充実 【関連】B 感謝	◎先生を敬愛し、学校で働く人々に親しんで、クラスや学校の生活を楽しくしようとする。 【理解、判断力】 学校で働く人々や上級生は、自分たちが楽しく充実した学校生活ができるように、いろいろなことを一生懸命にしてくれていることが分かる。 【心情】 自分たちの学校生活を支えてくれている人々に対して、すばらしいなあ、ありがたいなあと心が動く。 【実践意欲と態度】 学校生活が楽しく充実したものになるように、自分たちができることは何かを考えて、実行しようという意欲をもつ。	1 自分たちは、学校でどんな人のお世話になっているか話し合う。 2 「学校 大すき」を読み、学校のよさについて考える。 3 自分たちの学校についてまとめ、話し合う。 4 これから自分たちにできることを考え、まとめる。	○道徳の授業 ・「学校 大すき」を読み、学校のよさについて考えさせる。 ○学級活動 ・もっと楽しいクラスや学校にするために、自分たちにできることを話し合わせ、実践させる。 ・実践した結果をまとめさせ、発表の機会などを設ける。 ○日常生活 ・学校でお世話になっている人を探してみるよう促す。 ・学校のよいところについて、家の人に聞いてまとめさせる。
4月	2. 学校たんけん 〔あいての きもち〕 【主】B 親切、思いやり 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎幼い人の気持ちや立場を理解しようとする。幼い人が困っていたら助けたいと願う心をもって親切にしようとする。 【理解、判断力】 幼い人の気持ちや立場を考えて、幼い人が困っていたら助けたいと願う心をもっていることが分かる。 【心情】 幼い人の気持ちや立場を考えて、幼い人が困っていたら助けたいと願う心から親切にしようとする姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 幼い人が困っていたら助けたいと願う心を大切に、幼い人に親切にしようとする。	1 入学してきた1年生の気持ちを考える。 2 「学校たんけん」を読み、親切、思いやりについて考える。 3 本時の学習をまとめ、生活に生かしたいことを考えて発表する。	○道徳の授業 ・「学校たんけん」を読み、親切、思いやりについて考えさせる。 ○生活科 ・道徳の授業で学んだことを意識させながら、1年生に対する学校案内を行わせる。または、1年生と交流する機会を設ける。 ○学級活動 ・1年生が困っていることを調べ、自分たちで解決できることはないか考えさせて実行させる。 ・実行した感想を記録させ、帰りの会などで発表させる。
<b>重点主題：まい日を きもちよく</b>				
4月	3. できるよ ポンタくん 〔きもちの よい 学校の せい かつ〕 【主】A 節度、節制 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎健康や安全に気をつけ、物を大切に、身の回りを整え、規則正しい生活をしようとする。 【理解、判断力】 学校生活で基本的な生活習慣を身につけた生活をするためには、節度を守り、節制に心がけ、それを続けることが必要なことだと分かる。 【心情】 学校生活で基本的な生活習慣を身につけて生活している人に対して、すばらしいと思う。 【実践意欲と態度】 学校生活で基本的な生活習慣を身につけて、規則正しい生活をしていこうとする。	1 身の回りのことができているかどうか、お互いに聞き合う。 2 「できるよ ポンタくん」を読み、学校生活で、気持ちよく過ごすには、どうすればよいか考える。 3 学校で気持ちよく過ごすために、自分にできることを考えてまとめる。	○道徳の授業 ・「できるよ ポンタくん」を読み、学校生活のさまざまな場面で、やり過ぎずに気持ちよく生活するためにはどうしたらよいか考えさせる。 ○学級活動 ・学校生活で、度が過ぎた行動があるか振り返り、気持ちよく、安全に過ごすにはどうしたらよいか考えさせる。 ○日常生活 ・学校で気持ちよく過ごすため、自分にできることを続けるよう促す。 ○家庭 ・家で生活のできるようになったこと、できなくて困っていることを見つけるよう促す。
5月	4. そこだよ ポンタくん 〔きもちの よい いえの せい かつ〕 【主】A 節度、節制 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎健康に気をつけ、物を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をしようとする。 【理解、判断力】 基本的な生活習慣を身につけることの大切さが分かると共に、家庭でそのような生活をするためにどうしたらよいか考え、節度を守り、節制に心がけ、それを続けることが秘訣だと分かる。 【心情】 家庭生活で基本的な生活習慣を身につけて生活している人に対して、すばらしいと思う。 【実践意欲と態度】 家庭生活で基本的な生活習慣を身につけて、規則正しい生活を実行していこうとする。	1 家の生活で、ちゃんとできるようになったことと、うまくできなかったことをお互いに聞き合う。 2 「そこだよ ポンタくん」を読み、家庭生活を見直し、気持ちよく過ごすにはどうしたらよいか考える。 3 家で気持ちよく過ごすために自分にできることを考えてまとめる。	○家庭 ・家の生活のできるようになったこと、できなくて困ったことを見つけておくよう伝えておく。 ○道徳の授業 ・「そこだよ ポンタくん」を読み、家庭生活のさまざまな場面で困っていることを見直し、気持ちよく生活するためにはどのようにしたらよいか考えさせる。 ○日常生活 ・家で気持ちよく過ごすため、どんなことをどのように行うか考えたことを続けるよう促す。 ・続けてできたか、家の人にメッセージをもらうよう伝える。
5月	5. およげない りすさん 〔みんな なかよし〕 【主】B 友情、信頼 【関連】C 公正、公平、社会正義	◎自他の違いを理解し、お互いを認め合い、友達と仲よく助け合って活動しようとする。 【理解、判断力】 得意、不得意、できること、できないことで友達の仲間外れにせず、お互いを認め合い、助け合って生活することの大切さが分かる。 【心情】 友達と仲よく助け合って活動することに、よさを感じる。 【実践意欲と態度】 学習活動や遊びの中で、お互いを認め、楽しく助け合いながら活動しようとする。	1 友達と仲よくなるために大切なことを話し合う。 2 「およげない りすさん」を読み、仲よく遊ぶことのよさについて考える。 3 授業で学んだことをまとめる。	○道徳の授業 ・「およげない りすさん」を読み、友達と仲よくなるために大切なことを考えさせる。 ○国語科など ・グループ活動を取り入れ、話し合って活動する場面を多く作り、友達との関わりをもたせる。 ○学級活動 ・クラスみんなで遊べる計画を立て、遊んだ後の気持ちを発表させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
5月	6. げんかんそうじ 〔かぞくの ために できる こと〕 【主】C 家族愛、家庭生活の充実 【関連】C 勤労、公共の精神	◎自分の生活は、家族によって支えられていることが分かり、自分も家族のためにできることを進んで行おうとする。 【理解、判断力】 自分の生活は家族に支えられていることを知り、自分にも家族の役に立ちたいと願う心があることが分かる。 【心情】 家族どうしが互いに支え合うことで、さらに家族が明るくなっていく姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 家族のために、自分ができることを進んでしようとする。	1 自分の生活を振り返り、家族のよいところを話し合う。 2 「げんかんそうじ」を読み、支え合う家族のよさについて考える。 3 自分のしている手伝いを見直して、頑張りたいことをまとめる。	○道徳の授業 ・「げんかんそうじ」を読み、支え合う家族のよさについて考えさせる。 ○家庭 ・保護者に学級通信などで授業の意図を伝え、お手伝いの機会を設けてもらう。 ・お手伝いをしたときの自分の感想や家族の感想を記録させる。 ○学級活動 ・お手伝いをした自分の感想や家族の感想を、帰りの会などで発表させる。 ・授業で学んだことと、実際にお手伝いをして思ったことで重なる部分はないか考えさせ、理解を深めさせる。
5月	7. くるぶたの しっぱい 〔きまりを まもる 力〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 善悪の判断、自律、自由と責任	◎みんなが使う物や使う場所を大切に、きまりを守って気持ちのよい生活をしていこうとする。 【理解、判断力】 私たちの周りにはたくさんのきまりがあり、それを守らないとみんなが困るだけでなく、自分も困ることになることが分かる。 【心情】 自分勝手なことをする人に対して、よくないなあと不快な気持ちを感じる。 【実践意欲と態度】 みんなが使う物や場所を大切に、きまりを守って気持ちのよい生活しようとする。	1 ごみを捨てる時のきまりについて話し合い、きまりがないとどうなるかを予想する。 2 「くるぶたの しっぱい」を読み、きまりを守ることについて考える。 3 自分たちはきまりを守れているか振り返る。	○日常生活 ・自分たちの身の回りにどんなきまりがあるか、関心をもたせる。 ○道徳の授業 ・「くるぶたの しっぱい」を読み、きまりを守ることについて考えさせる。 ○帰りの会 ・自分たちの身の回りでどのようなきまりが守られているか、調べる。
6月	8. あいさつが きれいな 王さま 〔あいさつパワー〕 【主】B 礼儀 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎気持ちのよいあいさつができるように心がけて、明るく接しようとする。 【理解、判断力】 元気にあいさつをすると、自分も相手も元気がわき、お互いに明るく、いい気持ちになることが分かる。 【心情】 元気にあいさつをする姿をいいなあとと思う。 【実践意欲と態度】 自分も元気にあいさつをして、明るく生活しようとする。	1 あいさつの力について考える。 2 「あいさつが きれいな 王さま」を読み、あいさつのよさや大切さについて話し合う。 3 あいさつパワーについて話し合う。	○児童会活動・あいさつ運動 ・上級生が校門であいさつ運動をしている様子を見て、あいさつを意識させる。 ○道徳の授業 ・「あいさつが きれいな 王さま」を読み、あいさつパワーについて考えさせる。 ○学級活動 ・あいさつを進んで行い、みんなと仲よく、明るく生活することを継続的に実践させる。 ○家庭 ・身近な人にあいさつを行い、あいさつパワーを実感させる。
6月	9. やさい村の 子どもたち 〔すききらいに とらわれないで〕 【主】C 公正、公平、社会正義 【関連】B 友情、信頼	◎自他の違いや自分の好き嫌いとらわれないで接しようとする。 【理解、判断力】 自他の違いや自分の好き嫌いとらわれないで、人と接することのよさが分かる。 【心情】 差別や偏見を避け、公正・公平に人と接することのよさを感じる。 【実践意欲と態度】 自他の違いや自分の好き嫌いとらわれないで、だれとでも分け隔てなく接しようとする。	1 だれとでも仲よくするために大切なことを話し合う。 2 「やさい村の 子どもたち」を読み、好き嫌いとらわれないで接するよさを考える。 3 だれとでも仲よくするために大切なことをまとめる。	○国語科 ・金子みすゞの詩「わたしと小鳥とすずと」などを読み聞かせて、互いの違いやそれぞれが持つよさについて関心をもたせる。 ○道徳の授業 ・「やさい村の 子どもたち」を読み、公正・公平・社会正義についての理解を深め、自他の違いや好き嫌いとらわれないで接するよさを考えさせる。 ○学級活動 ・違いや好き嫌いとらわれないで生活するために、気をつけたいことを考えて発表する。 ○日常生活 ・公正・公平・社会正義の視点をもって、だれとでも分け隔てなく学んだり遊んだりするよう促す。
6月	10. おとうとの たんじょう 〔いのちの たんじょう〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 家族愛、家庭生活の充実	◎自分の命は家族の願いを受けて生まれてきたことや、自分には生きる力があることが分かり、自分の命を大切にしようとする。 【理解、判断力】 名前には家族の願いや思いが込められていることや、自分には「生きる力」があることが分かる。 【心情】 自分の命が大切にされ、自分が「生きる力」をもって生きていることをうれしく思う。 【実践意欲と態度】 自分の命を大切に、元気に生活していこうという意欲をもつ。	1 命が大切なわけについて話し合う。 2 「おとうとの たんじょう」を読み、「生きる力」と命の大切さについて考える。 3 命が大切なわけについて分かったことをまとめる。	○道徳の授業 ・「おとうとの たんじょう」を読み、命のもつ「生きる力」と命の大切さについて考えさせる。 ○家庭 ・自分の名前の由来を家族に聞いたり、自分の成長を家族に聞いたりする活動をさせる。学年だよりや参観日などの場を活用して保護者にも協力を呼びかけながら指導を進める。 ○生活科 ・自分の成長を調べてまとめさせる活動を行う。
6月	11. わたしたちも しごとを したい 〔みんなの ために〕 【主】C 勤労、公共の精神 【関連】B 親切、思いやり	◎働けば、周りの人が喜んでくれたり、自分もいい気持ちになったりすることが分かり、家族やクラスのために働こうとする。 【理解、判断力】 人のために働けば、周りの人が喜んでくれるだけでなく、自分もうれしくなることが分かる。 【心情】 人のために働くことや、人のために働いている人のすばらしさに心が動く。 【実践意欲と態度】 働くことのよさを知り、人のためになる仕事を家庭やクラスでしたいと思う。	1 どんな気持ちで仕事を行っているか考える。 2 「わたしたちも しごとを したい」を読み、働くことのよさについて話し合う。 3 自分たちができるみんなのために役立つ仕事について考える。	○道徳の授業 ・「わたしたちも しごとを したい」を読み、働くことのよさについて考えさせる。 ○日常生活 ・考えた、みんなのために役立つ仕事を実行するよう促す。 ・仕事を行った体験や感想を、ノートやワークシートに記録させる。 ○朝の会 ・朝のスピーチなどで、記録したことを発表させる。
7月	12. オリンピックと パラリンピックの はた 〔スポーツで なかよし〕 【主】C 国際理解、国際親善 【関連】D 生命の尊さ	◎他国の人々や他国の文化と、日本人や日本の文化との違いが分かり、他国の人々や他国の文化に親しもうとする。 【理解、判断力】 他国の人々や文化には、日本人や日本の文化と違うところがあることが分かる。 【心情】 自分と他国の人々は違いはあっても同じ人間であり、互いのよさを大切にしていこうとする姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 他国の人々や文化に、親しもうとする。	1 他国について考える。 2 「オリンピックとパラリンピックのはた」を読んで、国際理解や国際親善について考える。 3 他国について知りたいことを話し合う。	○道徳の授業 ・「オリンピックと パラリンピックの はた」を読み、国際理解、国際親善について考えさせる。 ○読書活動・日常生活 ・他国について、本で調べたり人に聞いたりする活動を促し、分かったことをノートなどに記録させる。 ○学級活動 ・朝のスピーチなどで、記録したことを発表させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
7月	13. 三べん かんがえて 〔お金のものつかいかた〕 【主】A 節度、節制 【関連】C 家族愛、家庭生活の充実	◎わがままをしないうで、物や金銭を大切に生活しようとする。 【理解、判断力】 物や金銭を大切にするには、わがままをせずに我慢する心が大切であることが分かる。 【心情】 物や金銭を大切に使っている人やその行動をみて、いいなあと心が動く。 【実践意欲と態度】 無駄づかいをせずに、物や金銭を大切に生活しようとする。	1 お金を大切に使うことについて考える。 2 「三べん かんがえて」を読み、物や金銭を大切にすることについて考える。 3 授業で学んだことをまとめる。	○道徳の授業 ・「三べん かんがえて」を読み、物や金銭を大切にすることについて考えさせる。 ○家庭 ・欲しいものリストをつくって、家の人と相談させる。 ・まとめたものを提出させる。 ○朝の会・帰りの会 ・欲しいものリストをまとめた結果をみんなに報告させる。
9月	14. ピーマンマンと よふかし大まおう 〔はやね はやおきで けんこうに〕 【主】A 節度、節制 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎自分の健康や安全に気をつけ、わがままをしないうで、規則正しい生活をしようとする。 【理解、判断力】 健康で安全な生活をするためには、わがままをしないうで規則正しい生活をするのが大切なことが分かる。 【心情】 規則正しい生活をして、健康に暮らすことのよさを感じる。 【実践意欲と態度】 自分の生活を見直し、わがままをがまんして、健康で規則正しい生活をしようとする。	1 教材を読む視点をもつ。 2 「ピーマンマンと よふかし大まおう」を読み、規則正しい生活の大切さについて考える。 3 よふかし大まおうに負けないために作戦を考える。	○学級活動・朝の会・帰りの会・家庭 ・就寝時間や起床時間についてアンケートなどを行い、自分の生活習慣に関心をもちたせておく。 ○道徳の授業 ・「ピーマンマンと よふかし大まおう」を読み、わがままをしないうで規則正しい生活をするのが大切さについて考えさせる。 ○日常生活 ・自分で決めたり家の人と相談したりして決めた作戦を継続して行うよう促す。 ○朝の会・帰りの会 ・自分が頑張ったことを発表させる。
9月	15. わたしの おじいさん、おばあさん 〔おじいさん、おばあさんの力〕 【主】C 家族愛、家庭生活の充実 【関連】B 感謝	◎祖父母の存在への関心を高め、敬愛し、感謝の気持ちをもつ。 【理解、判断力】 祖父母は、たくさんを知っていたり、自分にできないことができたりするなど、人間として立派であることが分かる。 【心情】 祖父母は、知恵や慈しみの心をもって自分のことを考えてくれていることが分かり、感謝の心をもつ。 【実践意欲と態度】 祖父母への思いを伝える自分なりの方法を考え、実践する。	1 自分の祖父母のことを思い浮かべる。 2 「わたしの おじいさん、おばあさん」を読み、祖父母がどんな気持ちで自分たちを支えてくれているのか考える。 3 これから、自分の祖父母に対してしていきたいことをまとめる。	○生活科・家庭 ・お年寄りや触れ合う授業を計画し、自分の祖父母や地域のお年寄りとの交流の場を設ける。そのときの様子を家庭で話す宿題を出すなどして、保護者に話す機会をもたせる。 ・お礼の手紙を書く活動などを取り入れる。 ○道徳の授業 ・「わたしの おじいさん、おばあさん」を読み、祖父母がどんな気持ちで自分たちを支えてくれているのかについて考えさせる。 ○家庭 ・本時の授業の内容や意図を保護者会や学級通信などで伝え、授業をきっかけとして祖父母との交流の機会を設けてほしいことを伝える。そのうえで、祖父母に対してしていきたいと考えたことを実行させる。 ○学級活動・国語科 ・敬老の日などに合わせ、祖父母への感謝の気持ちを手紙に書く活動を取り入れる。
9月	16. ぐみの木と 小鳥 〔おもいやりの ところ〕 【主】B 親切、思いやり 【関連】B 友情、信頼	◎身近にいる人の身の上や心情に思いを寄せ、温かい心で接するよさを大切に、親切にしていこうとする。 【理解、判断力】 相手の立場に立ってその人の気持ちを考える、思いやりの心から自分にできることをすることが親切であることが分かる。 【心情】 相手の気持ちが分かり、自分にできることをしている人を見て、すばらしいなあと感じる。 【実践意欲と態度】 自分も思いやりの心をもって生活していこうとする。	1 教材を読む視点をもつ。 2 「ぐみの木と 小鳥」を読み、思いやりの心と行為について考える。 3 授業で学んだことをまとめる。	○道徳の授業 ・「ぐみの木と 小鳥」を読み、思いやりの心と行為について考えさせる。 ○帰りの会・学級活動 ・思いやりのある行動をしていた人を、帰りの会などで発表させる。 ・思いやりの心をもった人が描かれている本や、その本を読んだ感想を紹介させる。 ○家庭 ・親切にしたり、親切にしてもらったときに、家の人に報告させる。
9月	17. ぼくの まちも、ひかっている！ 〔じぶんの まちの かがやき〕 【主】C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【関連】B 友情、信頼	◎郷土の文化や生活に親しみ、愛着を感じる。 【理解、判断力】 それぞれのまちには大切に受け継がれているものがあることが分かる。 【心情】 自分のまちのよさが分かると、それが好きになったり、大切にしようと思ったりすることを実感する。 【実践意欲と態度】 自分のまちで大切に受け継がれているものを知り、大切にしたいと思う。	1 自分のまちにあったらいいと思うものは何か話し合う。 2 「ぼくの まちも、ひかっている！」を読み、まちのよさと人々の思いについて考える。 3 自分のまちのよさを考える。	○生活科 ・町探検の結果を大きな地図などにまとめさせる。 ○道徳の授業 ・「ぼくの まちも、ひかっている！」を読み、まちのよさと、そのまちを大切にしてきた人々の思いについて考えさせる。 ○家庭 ・学年だよりなどを活用して家庭との連携を図り、家の人に聞くなどして、自分のまちのよさを見つけたり調べたりさせる。 ○学級活動 ・見つけたり調べたりしたまちのよさについて伝え合い、交流させる。
重点主題：よい こと、わるい こと				
10月	18. くつかくし 〔いけない こととは〕 【主】A 善悪の判断、自律、自由と責任 【関連】A 正直、誠実	◎よいことと悪いことの区別をし、してはいけないことは絶対にしないようにして、生活しようとする。 【理解、判断力】 してはいけないことを絶対にしない理由は、相手や周りのたくさんの人を困らせたり、傷つけたり、嫌な思いをさせたりするだけでなく、自分自身も困るからだということが分かる。 【心情】 してはいけないことをすると、相手や周りの人以上に自分がいちばん嫌で恥ずかしいと感じる。 【実践意欲と態度】 してはいけないことにはどのようなことがあるか、生活の中から見つけ、善悪の判断をして生活しようとする。	1 してはいけないことやその理由について考える。 2 「くつかくし」を読み、してはいけないこととそのわけを考える。 3 してはいけないこととその理由についてまとめる。	○朝の会・帰りの会 ・学校のきまりや約束などの資料を読み上げ、よいことと悪いことを考えさせておく。 ○道徳の授業 ・「くつかくし」を読み、してはいけないこととそのわけを考えさせる。 ○日常生活 ・学校や家の生活の中で、してはいけないことを見つめるよう促す。 ○家庭 ・してはいけないことについて家の人と話し合わせる。 ○学級活動 ・見つけたことや話し合ったことを報告させる。
10月	19. レッドカード 〔いけない ことを しないために〕 【主】A 善悪の判断、自律、自由と責任 【関連】A 節度、節制	◎自分自身でよい悪いの判断をして、してはいけないことは絶対にしないようにする。 【理解、判断力】 してはいけないことをすると自分も嫌な思いをすることが分かり、してはいけないことをしないようにする心は、自分の中にあることが分かる。 【心情】 してはいけないことをすると、自分がいちばん恥ずかしいと感じる。 【実践意欲と態度】 自分の絶対にしないことを決めて、それを実行しようとする意志をもって生活しようとする。	1 してはいけないことにはどのようなことがあるか、発表し合う。 2 「レッドカード」を読み、人として絶対にしてはいけないことについて考える。 3 自分の「わたしはできる」「わたしはまもる」カードを作成し、発表する。	○朝の会・帰りの会 ・自分の学校のきまりや約束などについて確認させる。 ○道徳の授業 ・「レッドカード」を読み、人として、してはいけないことについて考えさせる。 ○家庭 ・作成した「わたしはまもる」「わたしはできる」カードをもとに、一日の終わりに、決めたことが守れたかどうかを家の人に知らせる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
10月	20. モムンと ヘーテ 〔ともだちを おも う ころ〕 【主】B 友情, 信頼 【関連】B 親切, 思いやり	◎意見や考えの食い違いや感情のすれ違いがあっても、 友達を助けようとする気持ちがあることが分かり、互いに 支え合うことで友達関係をさらに深めていこうとする。 【理解, 判断力】 友達どうして対立したり、けんかしたりすることがあっても、 謝ったり許したりすることが大切であることが分かる。 【心情】 友達どうして謝ったり助け合ったりしている人の姿に触れて、 いいなあと心が動く。 【実践意欲と態度】 自分にも、友達を助けたい、仲よくしたいという気持ちがあり、 それを大切にして友達と仲よくしようとする。	1 仲よしの友達とはどんな友達なのか考える。 2 「モムンと ヘーテ」を読み、友達を思う心について考える。 3 授業で学んだことをまとめる。	○道徳の授業 ・「モムンと ヘーテ」を読み、友達を思う心について考えさせる。 ○他教科 ・グループ活動を組み入れ、話し合っ活動する機会をつくり、 積極的にグループの人と関わりをもたせる。低学年なので、 グループの人数は多くないほうが効果的である。 ○学級活動 ・「謝る」「許す」というキーワードを観点に、友達思いの人を 見つける活動を行わせる。
10月	21. のごぎり山の 大ぶつ 〔ひとりひとりを たいせつに〕 【主】C 公正, 公平, 社会正義 【関連】B 友情, 信頼	◎自分の好き嫌いにとらわれずに、人に接しようとする。 【理解, 判断力】 だれに対しても、公正・公平に接することの大切さが分かる。 【心情】 一人ひとりを大切にすることをいいなあと思う。 【実践意欲と態度】 一人ひとりを大切に、生活していきたいと思う。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、遠足の班に歩くのが苦 手な友だちがいたときにどう思うか考え、ノートに書く。 2 「のごぎり山の 大ぶつ」を、気になったところに線を引 きながら読む。 3 だれに対しても公正・公平に接することの大切さにつ いて考える。 ◎P.86・87の問いかけを読み、あかりさんに声をかける みんなを見て「ぼく」がはっとしたわけや、「ぼく」には、 どうして大仏が笑ったように見えたのかを考え、ノートに 書く。 4 「まとめる」を読み、こうだいさんから学んだことにつ いてノートにまとめる。	○道徳の学習 ・「のごぎり山の 大ぶつ」を読み、だれに対しても公正・ 公平に接し、一人ひとりを大切にするのよさについて考 えさせる。 ○学級活動 ・一人ひとりを大切にすることが大事なときや、「みんな仲 よく」できて楽しかった経験について考えたことを発表さ せる。
11月	22. お月さまが みて いる 〔あかるい ころで〕 【主】A 正直, 誠実 【関連】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任	◎人には正直に生きようとする心があることが分かり、 その心を自覚して明るく生活しようとする。 【理解, 判断力】 人間は、うそをついたりごまかしたりする行為を恥と思う 良心をもっていることが分かる。 【心情】 人の言葉によって触発されて良心が目覚め、正直に生きよ うとする姿に感動する。 【実践意欲と態度】 自分の中にも良心があることが分かり、その心を大切に して明るくのびのびと生活していこうとする。	1 正直について考える。 2 「お月さまが みて いる」を読み、正直であることにつ いて考える。 3 授業で学んだことをまとめ、教師の話を聞く。	○道徳の授業 ・「お月さまが みて いる」を読み、正直であることにつ いて考えさせる。 ○学級活動 ・明るく生活するために気をつけたいことを考えさせ る。 ○朝の会・帰りの会 ・正直にできたことや正直な人を見つけて発表させる。 ○読書活動 ・明るく生活して過ごした人の話を探して、本を紹介し合っ たり読んだ感想を伝え合ったりする活動を行う。
11月	23. ジョゼクんと おりがみ 〔がいこくに したしむ〕 【主】C 国際理解, 国際親善 【関連】B 友情, 信頼	◎他国の人々や文化に親しもうとする。 【理解, 判断力】 他国の人々も日本人や日本の文化に親しみをもっているこ とを知る。 【心情】 日本文化と交流を深めている他国の人々の姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 他国の人々や文化に興味をもち、他国の人々や文化にも親 しもうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、他国について知って いることをノートに書く。 2 「ジョゼクんと おりがみ」を、気になったところに線 を引きながら読む。 3 他国の人々や文化について考える。 ◎P.92・93の問いかけを読み、「ぼく」は折り紙がブラジ ルでも人気があることを聞いてどう思ったか、「ぼく」が なぜブラジルのことを知りたくなったのかを考えて、ノー トに書く。 4 「まとめる」を読み、他国の人と仲よくなるためにはど んなことが大切かを考え、ノートにまとめる。	○日常生活 ・スポーツなどで活躍している外国人選手を話題に取り上 げ、他国に関心をもたせる。 ・折り紙遊びをして、折り紙に関心をもたせる。 ○道徳の学習 ・「ジョゼクんと おりがみ」を読み、〈他国の人々、その 国の文化〉、〈日本人、日本の文化〉の違いについて考え させる。 ○日常生活 ・他国の暮らしや文化について本やインターネットで調べ たり、詳しい人に聞いたりする活動を促す。 ○特別活動・総合的な学習の時間 ・他国から来た人と話したりいっしょに遊んだりする機会を 設ける。
11月	24. はたけの 先生 〔おせわに なって いる 人〕 【主】B 感謝 【関連】B 礼儀	◎日ごろからお世話になっている人々の知恵や技術のす ばらしさを知り、日ごろのお世話に感謝する。 【理解, 判断力】 自分たちのお世話をしてくれる人は、すばらしい知恵や技 術をもっていることを知る。 【心情】 年上の人の知恵や技術に触れ、尊敬する気持ちをもち、お 世話になっていることをありがたいと感じる。 【実践意欲と態度】 自分たちがお世話になっている人々に、尊敬や感謝の心 をもって接しようとする。	1 日ごろお世話になっている人について思い起こす。 2 「はたけの 先生」を読み、感謝する心について話し合 う。 3 自分がお世話になっている人についてまとめる。	○日常生活 ・日ごろお世話になっている人に意識や関心を向けられるよ うに、さまざまな場面で年上の人々との縦の関係について取 り上げ、意識させる。 ○道徳の授業 ・「はたけの 先生」を読み、感謝する心について考えさせ る。 ○学級活動 ・お世話になっている人に向け「ありがとうカード」を作成 させ、感謝の気持ちを伝える。 ・感謝の集いなどを計画し、実行する。 ○生活科 ・生活科での昔遊びの学習で、地域のお年寄りや自分の祖父 母などに教えてもらおう計画を立て、ふれあいを通して尊敬 や感謝する心をもてるようにする。
11月	25. うつくしい もの、うつくし い ころ 〔すがすがしい ころ〕 【主】D 感動, 畏敬の念 【関連】A 個性の伸長	◎美しいものに触れて感動し、すがすがしい心を大切に しようとする。 【理解, 判断力】 美しいものに感動し、自分の心の中に美しいものを美し いと感じる心があることが分かる。 【心情】 自然の美しさ、絵画や写真の美しさなどに触れて、感動す る。 【実践意欲と態度】 すがすがしい心を大切にして生活していこうとする。	1 どのようなものを美しいと思ったか、想起する。 2 「うつくしい もの、うつくしい ころ」を読み、美 しいものや、美しい心について考える。 3 学習で学んだ美しいものについてまとめる。	○日常生活 ・目に見える美しいものや、目に見えないが美しいものなど に触れる機会を多く設ける。 ○道徳の授業 ・「うつくしい もの、うつくしい ころ」を読み、美し いものや、美しい心について考えさせる。 ○日常生活 ・美しい心が描かれた話や、目に見えない美しさを探すよう 促す。 ○学級活動 ・見つけた美しい話や、美しいものなどを互いに紹介させ る。
12月	26. おかあさんとの やくそく 〔よいと おもう こと, よくな いとおもう こと〕 【主】A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 【関連】B 友情, 信頼	◎人間にはよいことを実現したいと願う心や、よいこと をする気持ちがよいと感じる心があることが分かり、 よいと思うことを進んで行おうとする。 【理解, 判断力】 人には、よいことと悪いことを区別してよいことを実現し たいと願う心があることが分かる。 【心情】 よいと思うことを進んで行おうとする姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 よいことと悪いことを区別し、よいと思うことを進んで行 おうとする。	1 メールやメッセージがきっかけでけんかになった事例 を知り、その理由を考える。 2 「おかあさんとのやくそく」を読み、よいことを行うこ とについて考える。 3 これからの生活で大切にしたいことを考えて発表す る。	○道徳の授業 ・「おかあさんとの やくそく」を読み、よいことを行うと いうことについて考えさせる。 ○家庭 ・よい行いができているか、家の人に聞くなどして、自分 の生活を振り返らせる。 ○日常生活 ・よいと思うことをするとどんな気持ちになるか、実際 にやってみよう促す。 ○学級活動 ・まちがいを改めることができた人や、よいことをしている 人を探して、帰りの会などで発表させる。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
12月	27. <b>かいらんばん</b> 〔ちいきは なかよし〕 【主】C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 【関連】B 親切、思いやり	◎地域の人々が支え合って生活を豊かにしていることについて理解を深め、自分も地域の中で支えられて生きていることに喜びを感じ、地域に親しみをもとうとする。 【理解、判断力】 地域の人々が支え合って生活しているよさが分かる。 【心情】 自分も地域の中で支え合ったり、心を通わせ合ったりして生活していることをうれしく思う。 【実践意欲と態度】 地域のよさが分かり、地域の行事などに進んで参加するなど、地域に親しみをもって生活していこうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、近所の人とどんな関わりがあるか考えてノートに書く。 2 「かいらんばん」を、気になったところに線を引ながら読む。 3 地域の人と共に生きるよさについて考える。 ◎P.107の問いかけを読み、ひろこさんがベビーカーをゆずるのが楽しみになったわけを考え、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、自分の近所の人たちの心のこもった活動について家の人に聞き、そのよさをノートにまとめる。	○道徳の学習 ・「かいらんばん」を読み、地域の人たちとつながって生きるよさについて考えさせる。 ○家庭・地域社会 ・地域の回覧板やつながりについて家の人に聞く活動や、地域の活動への参加を促す。 ○学級活動 ・地域の活動に参加した様子や感想を報告させる。
1月	28. <b>小さなできごと</b> 〔れいぎ 正しく〕 【主】B 礼儀 【関連】A 正直、誠実	◎気持ちのよいあいさつ、言葉づかい、動作などを心がけて、人と明るく接する。 【理解、判断力】 あいさつや言葉づかいは、時・場・相手によって使い分けが必要なきことが分かる。 【心情】 礼儀正しくあいさつすると、その気持ちが相手にも伝わり、自分も相手も気持ちよく過ごす姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 自分から進んで、元気にあいさつしようとする。	1 礼儀正しくすることの大切さについて考える。 2 「小さなできごと」を読み、礼儀正しくすることのよさや、それを生む心について考える。 3 礼儀正しくすることのよさについてまとめる。	○道徳の授業 ・「小さなできごと」を読み、礼儀正しくすることのよさや、それを支える心について考えさせる。 ○日常生活 ・心のこもった言葉づかいや行為はどんなものか考えさせて、実際に練習させる。 ・あいさつ週間などで、礼儀を意識して取り組ませる。
1月	29. <b>きれいに なった ずこうしつ</b> 〔はたらく よろこび〕 【主】C 勤労、公共の精神 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎働くことはみんなの役に立ち、自分もうれしくなったり、成長したりすることが分かると、自然にみんなのために働こうとする。 【理解、判断力】 人のために働くこと、周りの人が喜んでくれるだけでなく、自分もうれしくなることが分かる。 【心情】 自分もうれしいという心から働いている人を見て、立派だなあと心が動く。 【実践意欲と態度】 自分にもみんなのために働くとうれしく感じる心があることに気づき、みんなのために働いていこうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、ふだんどんな気持ちで掃除をしているかを思い出し、ノートに書く。 2 「きれいに なった ずこうしつ」を、気になったところに線を引ながら読む。 3 働くことのよさについて考える。 ◎P.114の問いかけを読み、ともえさん、けいたさん、ももこさんがどんなことを考えて、廊下の水をふいたり、ごみを捨てたり、花びんの水を捨てたりしているのかを考えて、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、みんなのことを考えて自分がしようと思うことをノートにまとめる。	○学級活動 ・みんなで使う場所やものの使い方について話し合わせる。 ○道徳の学習 ・「きれいに なった ずこうしつ」を読み、働くことのよさについて考えさせる。 ○学級活動・帰りの会 ・自分が決めた仕事など、みんなのためにできることを行い、その感想をカードにまとめさせる。 ・カードを掲示したり、感想を発表させたりする。
2月	30. <b>おりがみ名人</b> 〔がんばる 力〕 【主】A 希望と勇気、努力と強い意志 【関連】A 個性の伸長	◎自分のやるべきことをしっかりと行うことの大切さが分かり、それを自分の生活に生かしていこうとする。 【理解、判断力】 よりよく成長したいと願う心をもって、目標に向かって問いをもち、調べ、繰り返して成し遂げようと努力することの大切さが分かる。 【心情】 自分のやるべきことをしっかりと行っている人を見て、すばらしいなあと感動する。 【実践意欲と態度】 自分にもよりよく成長したいという心があることを自覚し、その心を大切に努力していこうとする。	1 教材を読む観点をもつ。 2 「おりがみ名人」を読み、目標をもって頑張ることについて考える。 3 自分の目標と、頑張るためのくふうをまとめる。	○道徳の授業 ・「おりがみ名人」を読み、目標をもって頑張ることについて考えさせる。 ○朝の会・帰りの会 ・続けて頑張るためのくふうをやってみてどうか、伝え合わせる。 ・頑張りカードを作成し、子どもが頑張っていることを書かせ、友達からのメッセージをもらえるように朝の会や帰りの会で時間を取る。また、頑張っていることを見直し、うまくいったことなどを報告させる。
2月	31. <b>ミーボーしんぶん</b> 〔じぶんの よい ところ〕 【主】A 個性の伸長 【関連】A 希望と勇気、努力と強い意志	◎自分の特徴に気づき、特徴を大切にしようとする。 【理解、判断力】 人には一人ひとり、さまざまな特徴があることが分かる。 【心情】 主人公の特徴が分かり、特徴を伸ばそうとする姿に心が動く。 【実践意欲と態度】 自分のもっている特徴を見つけて伸ばそうとする。	1 自分のよいところを考え、教材を読む観点をもつ。 2 「ミーボーしんぶん」を読み、「ぼく」のよさについて考える。 3 自分の特徴を探す。 4 自分のよさに気づき、伸ばそうとするためにどうしたらよいか、話し合う。	○学校における日常生活 ・帰りの会で、一日を振り返り、友達のよいところ、自分の頑張ったことを伝え合わせる。 ○道徳の授業 ・「ミーボーしんぶん」を読んで、自分のよさに気づき、それを伸ばしていこうとする大切さについて考えさせる。 ○日常生活・朝の会・帰りの会 ・自分が気づいていなかった自分の特徴を、家の人や身近な人に聞いて調べさせ、見つけた自分の特徴を発表する場を設ける。 ○生活科 ・自分自身の生活や成長を振り返らせ、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活することを促す。
2月	32. <b>とくべつな たからもの</b> 〔あたたかい ところ〕 【主】B 親切、思いやり 【関連】B 感謝	◎身近な人に対して温かい心をもって親切にすることのよさが分かり、親切にしようとする。 【理解、判断力】 人には困っている人を放っておけない心があることが分かる。 【心情】 自分のできる限りのことをして身近な人を助けようとする姿に感動する。 【実践意欲と態度】 周りの人に親切にしたいと思う。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、温かい心とはどのような心か考え、ノートに書く。 2 「とくべつな たからもの」を、気になったところに線を引ながら読む。 3 温かい心について考える。 ◎P.125・127の問いかけを読み、ねずみの子を見たくまくんがどうして助けたいという気持ちになったのか、ねずみの子が握っていたどんぐりがなぜ「とくべつな たからものなのか」を考えて、ノートに書く。 4 「まとめる」を読み、温かい心をもったり、あげたりしたことを思い出し、ノートにまとめる。	○道徳の学習 ・「とくべつな たからもの」を読み、温かい心について考えさせる。 ○学級活動 ・温かい心をあげたり、もらったりしたことをカードに書く活動を計画し、できたものを掲示して実践意欲につなげる。 ○家庭 ・これからどんな温かい心を使っていきたいか、家の人に伝えるよう促す。
<b>重点主題：かがやく いのち</b>				
2月	33. <b>一まいの しゃしん</b> 〔生きる 力〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 家族愛、家庭生活の充実	◎人間は元気に生きようとする力をもっていることや、多くの人たちに支えられながら生きていることが分かり、生命を大切にしようとする。 【理解、判断力】 人間には、けがや病気を治して元気に生きようとする力があり、それは自分にも備わっていることが分かる。 【心情】 自分は、家族や周りの人たちに支えられて大きくなっていくことを知り、ありがたいなあと心が動く。 【実践意欲と態度】 他者に支えられながら生きている自分を自覚し、生命を大切にしようとする。	1 自分の家族の病気やけがが治ったときのことを思い出して話し合う。 2 「一まいの しゃしん」を読み、たかしが元気でいられるのはなぜか考える。 3 「生きる力」について、授業で学んだことをまとめる。	○家庭 ・保護者に学級通信などで授業の意図を伝え、子どもが生まれたときのことや、病気になったときのこと、子どもへの望みなどを手紙に書いてもらう。 ○道徳の授業 ・「一まいの しゃしん」を読み、元気でいられるのはなぜか考えさせる。 ○家庭 ・どんなときに「生きる力」を感じたか、家の人に伝えたり、「生きる力」を大切にしようという思いをカードに書いてもらうよう促す。 ・保護者に学級通信などで授業の意図を伝え、子どもたちが書いたカードに励ましの言葉を書いてもらうように伝えておく。

月	教材名〔主題名〕 内容項目(主・関連)	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例
3月	34. わたしの ものがたり 〔わたしの 生きる 力〕 【主】D 生命の尊さ 【関連】C 家族愛、家庭生活の充実	◎自分が成長したり生きて活動したりできるのは、「つくった力」と「もらった力」の二つの力があるからだと分かり、その力を発揮してかけがえのない生命を大切にしようとする。 【理解、判断力】 自分の命には生きる力があることに気づき、「生きる力」には、「つくった力」と「もらった力」があることが分かる。 【心情】 「つくった力」と「もらった力」が「生きる力」になることが分かり、かけがえのない生命をもっていることに心が動く。 【実践意欲と態度】 自分にも「つくった力」と「もらった力」があることを知り、これからも「生きる力」を発揮していこうとする。	1 教科書の冒頭の問いかけを読み、今の自分になるまでに、どんなできごとがあったのかを振り返り、ノートに書く。 2 「わたしの ものがたり」を、気になったところに線を引きながら読む。 3 生きる力について考え、自分の持っている「生きる力」を見つめる。 ◎P.137の問いかけを読み、自分の「もらった力」と「つくった力」を考えて、P.137の図に書く。 4 「まとめる」を読み、自分の「生きる力」について分かったことや気づいたことをノートにまとめる。	○家庭 ・生まれてから2年生になるまでの間の様子について、事前に家の人から聞いてくるように指示しておく。 ○道徳の学習 ・「わたしの ものがたり」を読み、生きる力には「つくった力」と「もらった力」があることを知り、自分の「生きる力」について考えさせる。 ○家庭 ・自分の「生きる力」をどんなことに使いたいか、家の人に伝えさせる。
3月	35. さくらの木と いっしょに 〔しぜんと とともに〕 【主】D 自然愛護 【関連】C よりよい学校生活、集団生活の充実	◎身近な自然に親しみ、植物に優しい心で接していこうとする。 【理解、判断力】 自然は生きており、人間は、その植物に対して友達のように温かく接して暮らしていることのすばらしさが分かる。 【心情】 人間が植物と友達のように温かく接している様子に触れて、いいなあ、すばらしいなあ心が動く。 【実践意欲と態度】 自分の身近な植物も生きてることが分かり、その植物に温かい心で接していこうとする。	1 自分の身の回りの好きな自然を挙げて、そのわけを考える。 2 「さくらの木と いっしょに」を読み、自然との関わりについて考える。 3 自分の好きな花や木と、その理由を紹介する。 4 学校にある植物について話し合う。	○生活科 ・植物を育てたり、生き物の世話をしたりする活動を行い、感じたことを観察カードなどにまとめさせる。 ○道徳の授業 ・「さくらの木と いっしょに」を読み、自然との関わりについて考えさせる。 ○学級活動 ・実際に学校内の樹木を見て回り、気づいたことを発表させる。 ・家族の自然観を調査して、お父さんやお母さんはどんな木が好きか、なぜ好きかなど、調べたことを発表させる。
付録	36. ねこが わらった 〔すなおな ところで〕 【主】A 正直、誠実 【関連】A 善悪の判断、自律、自由と責任	◎うそをついたりごまかしたりすると、心が落ち着かなくなることを知り、素直にのびのびと生活しようとする。 【理解、判断力】 うそをついたりごまかしたりすると心が落ち着かなくなるのは、正直に生きたい気持ちがあるからだと分かる。 【心情】 うそをついたりごまかしたりしないで、正直に生きるよさに心が動く。 【実践意欲と態度】 うそをついたりごまかしたりしないで、素直にのびのびと生活しようとする。	1 うそをついた後の心について話し合う。 2 「ねこが わらった」を読み、正直に生きることのよさについて考える。 3 正直でいることのよさを考える。	○道徳の授業 ・「ねこが わらった」を読み、正直に生きることのよさについて考えさせる。 ○日常生活 ・自分がうそやごまかしをしないために心がけたいことを考え、日常生活の中で実践していくよう促す。 ○朝の会・帰りの会 ・実際にできたことやそのときの気持ちなどを報告させる。
付録	37. 小さな ゆきうさぎ 〔しんせつに すると いい きもち〕 【主】B 親切、思いやり 【関連】B 友情、信頼	◎幼い人の気持ちを考えて温かい心で接することで、自分も喜びを感じ、自分にできることを進んで行おうとする。 【理解、判断力】 幼い人に温かい心で接し、相手の望むことを理解しようとする大切さが分かる。 【心情】 幼い人に親切にしている人を見て、いいなあ心が動く。 【実践意欲と態度】 親切にすることで互いの間に生まれる喜びを知り、これからも親切な行動をしようとする。	1 親切について考える。 2 「小さな ゆきうさぎ」を読み、親切について考える。 3 本時で学んだ親切について考える。	○道徳の授業 ・「小さな ゆきうさぎ」を読み、親切について考えさせる。 ○日常生活 ・相手の気持ちを考えて親切にすることを意識づける。 ・親切にして喜んでもらえたことを、ノートやワークシートに記録させる。 ○学級活動 ・朝のスピーチなどで、記録したことを報告させる。
付録	38. なかよしで いたい 〔ともだちを しんじる〕 【主】B 友情、信頼 【関連】A 正直、誠実	◎けんかをして過ちを素直に認めて仲直りしたいと願う心や、友達と仲よしでいたいと願う心があることが分かり、さらに友達関係を深めていこうとする。 【理解、判断力】 自分にも、過ちを改めたいと願う心や、友達のよさが分かることさらに仲よくなりたいと願う心があることが分かる。 【心情】 友達と仲よしでいたいと願う心を大切に行動している人を見て、いいなあ心が動く。 【実践意欲と態度】 友達と仲よしでいたいと願う心を大切に、さらに友達関係を深めていこうとする。	1 友達とけんかしたときのことを思い出す。 2 「なかよしで いたい」を読み、友情、信頼について考える。 3 授業で学んだことをどのように生かしていくか考え、発表する。	○道徳の授業 ・「なかよしで いたい」を読み、友情、信頼について考えさせる。 ○帰りの会 ・友達や自分が過ちを素直に認めて改めることができたエピソードを発表させる。 ・友達がいてよかったことや、友達の気持ちや立場を考えて行動できたこと、友達からしてもらったことなどを紹介させる。 ○日常生活 ・自分に過ちがあれば素直に認め、改めようとする態度で生活しよう促す。 ・進んで友達のよさを見つめたり、友達の気持ちや立場を考えて行動しようという意識をもたせる。
付録	39. おとす 人、ひろう 人 〔だれもが きもちよく〕 【主】C 規則の尊重 【関連】A 節度、節制	◎みんなで使う物を大切に、気持ちよく過ごせる社会を築こうとする。 【理解、判断力】 みんなで使う物を大切にすることは、地域社会のために大切なことだと分かる。 【心情】 地域社会の人の気持ちを考えて、みんなで使う物を大切にすると、自分もうれしい気持ちになる。 【実践意欲と態度】 身の回りがあるみんなで使う物をきまりに従って使い、大切にしようとする。	1 みんなが守っているきまりには、どういったものがあるか考える。 2 「おとす 人、ひろう 人」を読み、みんなで使う物を大切にすることについて考える。 3 みんなで使う物に対して気をつけたいことを考える。	○生活科 ・通学区域の絵地図を作成させ、絵地図の中にあるみんなで使う物に関心をもたせる。 ○道徳の授業 ・「おとす 人、ひろう 人」を読み、みんなで使う物を大切にすることについて考えさせる。 ○学級活動 ・地域の中のみんなで使う物や場所を調べて、どのように使っているか話し合わせる。 ○日常生活・地域社会 ・校舎内や校庭、地域にあるみんなで使う物や場所を大切に使うよう促す。
付録	40. しあわせの 王子 〔うつくしい ところ〕 【主】D 感動、畏敬の念 【関連】B 親切、思いやり	◎人の心の美しさに感動し、自分もそのような心を育みたいと思う。 【理解、判断力】 困っている人がいたら助けずにはいられない心をもった人は、心の美しい人であり、人が幸せになると自分も幸せを感じる事が分かる。 【心情】 人が幸せになると自分も幸せを感じる心の美しさに、感動する。 【実践意欲と態度】 自分も、そのような美しい心を育みたいと思う。	1 心の美しい人について話し合う。 2 「しあわせの 王子」を読み、心の美しさについて考える。 3 美しい心についてまとめる。	○国語科 ・心の優しい登場人物が出てくる話などを紹介し、人の心の美しさについての意識をもたせる。 ○道徳の授業 ・「しあわせの 王子」を読み、心の美しさについて考えさせる。 ○学級活動 ・「人が喜ぶことが自分の喜びになる」という心をもった人や、美しい心の話を調べる活動を行い、発表させる。